真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年4月23日

事務事業名	部活動地域展開推進事業		担当課・係	教育委員会　学校教育課　教育政策係、指導係
政策名　No	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	2	心の教育と健やかな体づくり		

成果指標	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
	部活動指導員勤務日の対象職員一人あたり業務時間40%以上軽減達成率	%	36					
	部活動から地域展開したクラブ数	クラブ	5					

事業内容

①中学校における部活動指導の充実及び教員の負担軽減を図るため部活動指導員を配置する。「真岡市部活動の在り方に関する方針」を受けて、令和元年度から部活動指導員を配置し、部活動の充実と教職員の働き方改革の実現を目指す。令和元年度３名、令和４年度６名、令和７年度１１名
②急激な少子化が進む中、国からは将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するための体制整備を推進する方針が示された。本市では、令和６年度から部活動の在り方検討協議会を設置し、部活動の地域展開に向けた環境整備のための協議を行い、準備の整った種目から順次地域クラブ活動を開始していく。

前年度の課題（Check）

①業務時間４０%以上軽減できた教員が増えたが、まだ部活動の従事時間を削減できていない教員がいるので、削減できるように部活動指導員研修会で、部活動指導員に働きかけていく。
②令和７年度から評価対象のため、前年度の課題なし

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
①中学校における部活動指導の充実及び教員の負担軽減を図るため部活動指導員を配置する。
　各校に複数（２～３名）の部活動指導員を配置し、部活動の充実と教職員の働き方改革の実現を目指す。
　部活動指導員勤務日の対象教員一人あたりの業務時間４０%以上軽減　達成率４０%
②令和７年９月から国の補助を活用した実証事業を実施
　対象：市内全９中学校を対象とした剣道部と真岡中・物部中の卓球部
　部活動地域移行推進コーディネータの配置（週２日）

【２】結果と課題（Check）
①部活動指導員が配置されたことにより、少しずつ負担が軽減されつつある。
②地域クラブ活動実施にかかる費用について、国・県の補助額に上限があるため市負担額が増大している。参加者からの受益者負担について検討を進める必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　■ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
①ソフトテニスやバドミントン部への部活動指導員の配置
②地域クラブ活動の種目の拡充と制度の整備
・部活動地域展開推進計画の改訂
・地域クラブ活動の認定制度の要件等について県内市町の状況把握
・地域クラブ活動参加にかかる適切な受益者負担の検討
・地域クラブ活動に係る経費に対する財源の確保に向けた検討
・地域クラブ活動の種目の拡充に向けた関係者と連携・調整

（2）長期的な計画で検討すること
①団体種目への部活動指導員の配置が必要である。
②地域クラブ活動を総括する運営団体の整備が必要となる。